

■7月9日

全日空、フィリピン航空と提携予備協議

フィリピンの複合企業サンミゲルは8日、傘下のフィリピン航空とANAホールディングス傘下の全日本空輸との提携の可能性について、予備協議を行ったことを明らかにした。ロイターが報じた。

予備協議に関する現地紙の報道を受け、サンミゲルはフィリピン証券取引所に協議について説明する文書を提出した。サンミゲルは、フィリピン航空の提携先の有力候補の1つと報道されているエミレーツ航空からの接触はないと説明した。

一方、日経によると、ANAホールディングスは8日、フィリピン航空と航空運送事業を巡る提携に向け交渉中だと明らかにした。現地大手との提携により、成長が続くアジアの旅客需要を取り込む考えだ。交渉は初期段階のもようで、今後、両社はANAによる出資や共同運航便の実施などを視野に入れ、協議を本格化する。

(ロイター)7/8

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0FE0SO20130708> (->

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0FE0SO20130708>)

(日経)7/9

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD080FD_Y3A700C1TJ1000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD080FD_Y3A700C1TJ1000/)

日航、全日空、国内線宿泊パッケージ、ネット販売を強化

(日経によると)

日航は2017年3月期までに国内線予約のうち自社サイト経由の比率を70%程度に高める。サイトの使い勝手の向上などで現在の約50%から20ポイント引き上げる。全日空もネットでの航空券と宿泊施設の一括購入サービスを拡充する。旅行会社に払う手数料が不要なネット経由を増やし競争力を高める。

日航は自社サイト上で国内線の航空券と宿泊施設を自由に組み合わせて売る「ダイナミックパッケージ」と呼ぶサービスについて、宿泊施設の仕入れを外部から10月に子会社のジャルパックに切り替える。繁忙期でも空室を確保しやすく利用者の利便性を高める。担当のWeb販売部の人員も現在より2割強多い50人程度に増やす。

全日空は子会社のANAセールスが運営するダイナミックパッケージサイト「旅作」上で予約可能な宿泊施設を現在の約7000軒から1万軒に増やし、消費者の選択肢を広げて利用を促す。

国内取扱高は13年3月期の360億円から、16年3月期には700億円と、ほぼ倍増させたい考えだ

(日経)7/9

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD080H6_Y3A700C1TJ1000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD080H6_Y3A700C1TJ1000/)

AIR DO、6月、旅客輸送実績、平均搭乗率67.4%

AIR DOはこのほど、2013年6月の旅客輸送実績(速報値)を発表した。全路線合計搭乗者数は19万7,831人で、座席供給5.7%の増加に対し、旅客数は2.8%減少となった。平均搭乗率は67.4%と、前年同月と比べて5.9ポイント低下。

一方、新規就航搭乗率は、札幌—神戸線では81.8%(エアドゥ販売分89%)、札幌—岡山線は80.1%(同52.1%)だった。

(日刊航空)7/9

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

国交省、新千歳空港、昼間時間帯増枠、防衛省と協議

LCC就航拡大や国際線需要によって発着枠が不足している新千歳空港について、国交省は、1時間あたりの発着枠上限引き上げに向けて、同空港の管制業務を実施する防衛省との協議を開始する意向を固めた。2~3年後の容量拡大を視野に入れているようだ。

現在、新千歳空港の1時間あたり発着枠は2012年夏期スケジュール30回からの引き上げを行い32回で運用を行っている。しかし、今夏スケジュールでは、すでに9時台～15時台では容量を超えるリクエストがある。

なお、新千歳空港はIATAが定める“レベル2”の混雑空港に指定され、今年のダイヤから日本航空協会の「国際線発着調整事務局」が調整している。

(日刊航空)7/9

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0709-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0709-02.pdf>)

マレーシア航空、インド、オーストラリア線増便

マレーシア航空は8日、クアラルンプールとインド南部コーチおよびオーストラリアのダーウィンを結ぶ路線でそれぞれ増便すると発表した。

クアラルンプールーコーチ線は、9月1日から1日1便に増便する。一方のダーウィン線は11月1日から週5便(月、水、金、土、日)に拡大する。使用機材はボーイング737—800。

同社は、先ほど8月5日からクアラルンプールードバイ線を1日1便での再就航を発表している。

(NNA ASIA)7/9

<http://news.nna.jp/free/news/20130709myr008A.html> (-> <http://news.nna.jp/free/news/20130709myr008A.html>)